



公明党 長谷部 竜作 議員

## 防災について

**問** 市において、災害から市民を守るためには何が必要と考えますか。

**答** 市長 今年度から講話などにより、災害が身近に存在するのだということに加え、地域ごと起こり得る災害と対応について、市民へ直接的に働きかけています。

**問** 県による、二級河川作田川水系河川整備計画の進捗状況はどうですか。

**答** 都市建設部長 整備計画が平成27年度に改定され、平成47年完成を目標としています。

**問** 過去に作田川の氾濫があり、床上浸水等の水害が発生しました。昨今の異常気象等を念頭に、早期完成を県に強く要望していただきたいと思いますがいかがですか。

**答** 都市建設部長 関係市町で構成する作田川改修期成同盟会や、本市

単独でも県に強く要望していきます。

**問** 市土砂災害洪水ハザードマップには、土砂災害危険箇所として、急傾斜地危険箇所が196カ所、また土砂災害警戒区域と土砂災害特別警戒区域が75カ所指定されています。このような箇所・区域の対策を伺います。

**答** 総務部長 土砂災害防止工事とあわせ、ハザードマップ等で地域住民の方々に危険性を周知し、防災意識の向上を図っていきます。

**問** 市地域防災計画の中に、「市民・事業者」、「自主防災組織・区・自治会」、「市・防災関係機関」の三者が連携し、災害対策を行うとありますが、具体的な事業等はどうですか。

**答** 総務部長 今年度から、自主防災組織や防災士との連携を図れるよう連絡会を実施し、行政と自主防災組織、防災士との連携強化の足がかりを得ることができています。

**問** 学校施設など、災害時に避難所と成り得る施設は、地域住民と一緒に避難訓練を行ってはどうですか。

**答** 総務部長 一部の地域では、避難施設と地域住民との共同避難訓練を実施していますが、十分であるとは言えないと思います。来年度、市として、避難訓練を予定しており、学校等にも訓練への参加を促し、施設管理者

と地域住民との連携を図っていききたいと考えています。

**問** 大規模災害の際、多くの学校体育館が避難所になると予想されますが、高齢者や障害をお持ちの方の為にバリアフリー化や多機能トイレを設置すべきと思いますがどうですか。

**答** 教育部長 現在、車椅子でも通れるスロープ等が、小学校13校中8校、中学校は6校中5校あり、体育館入り口は、小学校13校中9校、中学校は6校中4校あります。

次に、校舎1階に多機能トイレを設置している小学校は8校、中学校は3校、また、体育館には小学校6校、中学校は2校、多機能トイレが設置してあります。

今後は、校舎等の改修、建て替えの際には、バリアフリー化や多機能トイレの設置を進めていきたいと考えています。

## 教育について

**問** 市では、なぜICT教育に力を入れるのか、その考えを伺います。

**答** 教育長 これからの変化の激しい社会を生きる子ども達には、自ら未来を切り開いていく力、予想困難で不確実な時代を生き抜く力が求められています。

その1つとして、ICT機器を活用する力は、必須の条件となり、力を入

れていくべきものだと考えています。

**問** ICT機器の特性を生かして、ビデオ電話機能等を使った交流授業をしてはどうですか。

**答** 教育部長 インターネット電話を活用して、直接国外の学校とやりとりすることは、国際交流の一環として効果がある活動だと思います。また、会話は基本的に英語となると思いますので、英語を使い意見交換をするという体験は、英語を話す経験を積むだけでなく、英語力の向上につながるものだと考えています。今後、検討を行っていきます。

※ICT教育：情報通信技術を活用した学校教育。デジタルテレビや教員用コンピューター、インターネット環境下での学生用タブレット端末などを用い、教育の質の向上を目指すもの。



ICT機器を使用した授業

## 個人質問